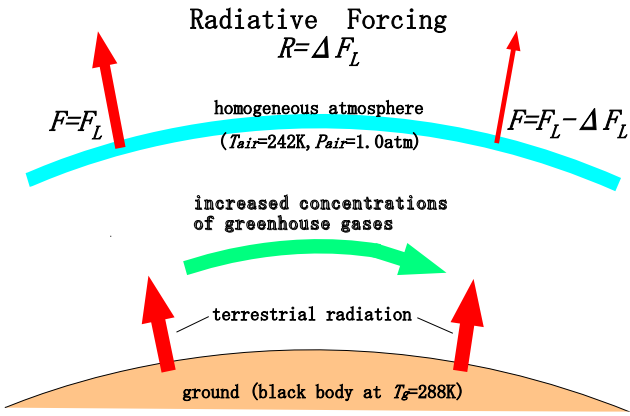


研究テーマ	ふく射性ガスの地球温暖化指数の解析				
担当教員・連絡先	酒井 清吾		sakai-seigo-fy@ynu.ac.jp		
研究室 Web	http://		定員: 1 名		
共同研究の有無	EP 内複数教員で指導		EP 横断で指導		企業と連携
<p>テーマ概要:</p> <p>近年、メタンや化石燃料の燃焼により排出される二酸化炭素などのふく射性ガスによる地球の温暖化が問題となっている。これらふく射性ガスに対して国際的な排出規制の取り組みがなされており、その際、ふく射性ガスの地球環境に対する影響力の推定が不可欠となる。推定の材料の一つとして、地球温暖化指数 (Global Warming Potential : GWP) がある。ある時刻に単位の温室効果気体を瞬間的に放出すると、大気層における放射収支が変化し、この変化量を放射強制力と呼ぶ。放射強制力と気体濃度との積を時間積分し、基準物質である二酸化炭素との比をとると、GWP が与えられる。わが国でも GWP の詳細な検討が行われており、本テーマでは、温室効果の評価方法の一つである GWP の値を、温室効果気体の化学分解過程を考慮しない、初期条件での値について数値解析を行い、その結果を比較・考察する。</p>  <p>Fig. Atmospheric model for calculation of radiative forcing</p>					
履修済みであることが望ましい科目: 特にありません。					
スキル: 地球温暖化に関心を持ち、コンピュータに興味があって、プログラミング言語 FORTRAN を学ぶ意欲のある人。					
その他:					